

白老から世界へ、世界から白老へ

ポスト・コロナ時代の まちと文化創造

2021.11.3(水)
14:00~17:00

場所 しらおい創造空間「蔵」
白老町本町1丁目7番5号

参加費 無料

参加予約・オンライン配信申し込み先

<https://shiraoi-kura.com/>

*オンラインでご参加をお申し込みの方には、前日までに参加用リンクをEメールでご連絡させていただきます。

*会場でのご参加をご希望の方は、お申し込み後予約確定のご連絡をさせていただきます。感染症対策のため席数を限定しておりますので、満席の場合はお入りいただけません。

*会場は感染症対策を実施した上で人数を限定して公開しております。当日発熱のある方、具合の悪い方などはご参加をお控え下さい。



主催

特定非営利活動法人 しらおい創造空間「蔵」
〒059-0906 北海道白老郡白老町本町1丁目7番5号
TEL : 0144-85-3101 <https://shiraoi-kura.com/>

Program

プログラム

第1部 シンポジウム

「白老から世界へ、世界からしらおいへ」

登壇者

野本正博 (民族共生象徴空間「ウボボイ」運営本部・文化振興部長/旧アイヌ民族博物館館長)

佐々木史郎 (国立アイヌ民族博物館館長)

相内学 (星野リゾート北海道統括総支配人)

第2部 パネルトーク&プレゼンテーション

「白老で生まれたクリエイティビティ」

登壇者

国松希根太 (アーティスト)

さっちゃん (シンガーソングライター・大学生)

西尾圭史 (ブーランジェリーニシオ オーナー)

中谷公祐 (広告プランナー・DRAWING AND MANUAL)

主催者ご挨拶

毛笠史寛 (NPO 法人しらおい創造空間「蔵」会長)

司会・モデレーター 谷地田未緒 (NPO 法人しらおい創造空間「蔵」)

白老から世界へ、世界から白老へ ポスト・コロナ時代の まちと文化創造

しらおい創造空間「蔵」は、2000年のオープン以来、文化・芸術・社会教育に関する事業に取り組んできました。しかし新型コロナウイルスの影響で「蔵」をはじめ日本全国の地域劇場やアートスペースが苦境に立たされています。同時にそんな世の中だからこそ、これまで以上に音楽や演劇、アートや文化が、人と人をつなぎ、生きる元気を生み出しています。パンデミックのまった中の2021年、新しいメンバーを迎えて新体制となった「蔵」は、ポスト・コロナ社会における創造空間の新たな役割として、白老の創造的な可能性を世界に発信する特別シンポジウムを開催します。

第1部登壇者

野本正博

Masahiro Nomoto

民族共生象徴空間ウポボイ運営本部・文化振興部長、旧アイヌ民族博物館館長
1963年白老町生まれ。2012年-2018年までアイヌ民族博物館の館長。国内外のアイヌ文化展の企画・制作に関わり、アイヌ工芸を自ら制作する。1999年スミソニアン博物館「AINU Spirit of Northern People」展示制作。現在も同館の北太平洋諸民族の文化と交流史の参考資料として、アイヌの板織り舟「イタオマチヅ」が展示されている。近年は世界各国の博物館・美術館における先住民族の展示、交流をテーマに活動。2018年より民族共生象徴空間「ウポボイ」運営本部・文化振興部長を務めている。



佐々木史郎

Shiro Sasaki

国立アイヌ民族博物館館長
1957年東京都生まれ。1984年に初めてフィンランドでサーミの調査をして以来、中国内モンゴル自治区、ロシア極東地域、シベリア等で先住民族の狩猟漁撈文化とトナカイ飼育文化の調査・研究に従事。ことにロシア極東地域では文献資料とフィールドワークを併用した研究で、ナーナイ、ウリチ、ニヅフなどのアムール川流域の先住民族の18, 19世紀における交易活動を明らかにしてきた。1985年から国立民族学博物館で研究職を務め、2003年より同文化研究部教授、現在名誉教授。2020年4月より国立アイヌ民族博物館館長。



相内学

Manabu Ainai

星野リゾート北海道統括総支配人
1973年千葉県生まれ。2006年星野リゾート入社。経営改善途上だったトマムの販売責任者として奔走し業績回復を果たす。2019年からリゾートホテル「リゾナーレ」のマーケティングディレクター、並びに国内外全50施設の販売戦略のサポートも兼務。2021年新設の北海道事業部門にディレクター（北海道統括総支配人）として札幌へ着任。界ポロト、トマム、OMO、ホテルWBFを含めた道内2,000室以上の運営を担当。学生時代から通算26年間北海道に居住。



第2部登壇者

国松希根太

Kineta Kunimatsu

アーティスト

1977年、札幌市生まれ。1986年から2年間、森野小中学校に通う。多摩美術大学美術学部彫刻科を卒業後、2002年より飛生アートコミュニティーを拠点に制作活動を行なう。近年は、地平線や水平線、山脈などの風景の中に存在する輪郭（境界）を題材に彫刻や絵画などの制作している。また、アヨロボラトリーの活動としてアヨロと呼ばれる地域を中心に土地のフィールドワークを続ける。飛生アートコミュニティー代表。



さっちゃん Satchan

シンガーソングライター・大学生

2001年生まれ。白老町出身の歌唄い。「歌う！ほしのこどもたち」として飛生キャンプ(2013)で歌ったことをきっかけに、白老で音楽活動を始め作詞作曲も行う。白老町の姉妹都市であるカナダのケネル市に留学をした際、現地の友人と初めてアルバムを制作(2017-2018)。帰国後も蔵を利用した姉妹都市交流活動を応援。今年9月には蔵で3回目のライブを企画し、白老で生まれた曲を歌った。函館の大学1年生。



西尾圭史

Keishi Nishio

ブーランジェリーニシオ オーナー

白老町で人気のベーカリー、「ブーランジェリーニシオ」オーナー。厚真町出身。福祉系の大学を卒業後、障害者支援施設に勤める中で、パンの製造や販売を通じて就労支援するベーカリーに配属になったことをきっかけにパン作りに興味をもつ。日本各地の有名店にも足を運び、2013年に妻の由紀さんの地元白老町で開業。北海道各地からお客さんが訪れている人気店となり、2020年にはこれまでの店舗隣に新築移転オープンした。



中谷公祐

Kosuke Nakaya

広告プランナー・DRAWING AND MANUAL

1992年生まれ白老町出身。さくら幼稚園、緑丘小学校、白老中学校、北海道栄高校と、白老の中で青春を過ごす。東京学芸大学卒。2017年よりDRAWING AND MANUALに参加。「企画から納品まで」の全てを仕切ることを得意とするユーティリティプランナー。JR、サントリー、つくばみらい市、徳島県庁、すごろくや、ラグビーW杯、N高校などのクライアントを担当。教員免許保持。自ら立ち上げた「東京庶民オーケストラ」で指揮も振る。



主催者ご挨拶

毛笠史寛

Fumihiko Kegasa

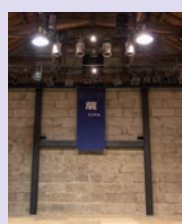
NPO法人しらおい創造空間「蔵」会長

2021年よりNPO法人しらおい創造空間「蔵」代表。白老町で生まれ育ち、中学生の頃から、「蔵」の創設メンバーで初代会長をしていた父と共に音楽やお芝居などに参加。東京で就職し、航空業界で勤務したのち、2015年に父の後を継いで、昭和38年創業の毛笠コンクリート株式会社代表取締役役に就任。白老の文化を後世に伝え、子供達に文化芸術を残すため、「蔵」の4代目会長に。



しらおい創造空間「蔵」とは

「蔵」の建物は、軟石の石材で大正時代に酒造として建てられました。旧白老農協の飼料倉庫として使用されていたこの歴史的建造物を、芸術文化の創造や発信の場にしたいと1999年にアートセンターに改修し、2000年11月にしらおい創造空間「蔵」がオープンしました。これまでに日本を代表する劇団の演劇、落語、地域のお祭り、一流のジャズやクラシックのコンサートから地元出身ミュージシャンのライブまで、芸術文化の発信拠点として「いろんな人がつながり、白老を元気にする場」として活動してきています。



特定非営利活動法人 しらおい創造空間「蔵」

〒059-0906 北海道白老郡白老町本町1丁目7番5号

TEL : 0144-85-3101 <https://shiraoi-kura.com/>

